

平成 27 年度の法人の経営状況（総括表）

1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	460,628
①事業活動収入	9,912,478
・介護報酬等の公費(※)	457,439
・利用者負担金(※)	101,734
・その他収入	9,353,305
②事業活動支出	9,451,850
・人件費支出	4,870,433
・事業費支出	3,277,375
・利用者負担軽減額	1,268,225
・その他支出	35,817
(2)施設整備等資金収支差額	▲ 133,673
①施設整備等収入	
・施設整備補助金等の公費	
・その他収入	
②施設整備等支出	133,673
(3)その他の活動資金収支差額	▲ 392,220
①その他の活動収入	20,419
②その他の活動支出	412,639
当期末資金収支差額	▲ 65,265
前期末支払資金残高	2,318,528
当期末支払資金残高	2,253,263

(※)医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	125,126
①サービス活動収益	9,867,154
②サービス活動費用	9,742,028
減価償却費	291,288
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 22,581
その他サービス活動費用	9,473,321
(2)サービス活動外増減差額	▲ 111,831
①サービス活動外収益	45,362
②サービス活動外費用	157,193
(3)特別増減差額	▲ 148
①特別収益	0
②特別費用	148
税引前当期活動増減差額	13,146
法人税、住民税及び事業税	1,040
当期活動増減差額	12,106
前期繰越活動増減差額	1,393,894
当期末繰越活動増減差額	1,406,000
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	12,500
その他の積立金積立額	300,000
次期繰越活動増減差額	1,118,500

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1)資産の部	9,413,404
①流動資産	3,270,772
②固定資産	6,142,632
(2)負債の部	3,794,350
①流動負債	1,399,529
②固定負債	2,394,821
(3)純資産の部	5,619,054
減価償却累計額	7,870,493

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

#### 4. 積立金の状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額(千円)	積立計画の有無	積立目標額(千円)	施設整備の場合		
					整備事由	整備時期	整備対象施設名
建設積立金	病院建替	1,390,000	○		建替	未定	同愛記念病院
建設積立金	老人ホーム建替	394,000	○		建替	未定	同愛記念ホーム
修繕積立金	病院建替・老人ホーム建替	92,000	○		建替	未定	同愛記念病院・同愛記念ホーム
備品積立金		29,000					

#### 5. 関連当事者との取引の内容

種類	法人等の名称	住所	資産総額(千円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員等の兼務等	事業上の関係				

#### 6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要	実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免	○	平成12年	91
2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施			
3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施	○	平成18年	—
4 災害時における各種支援活動の実施			
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6 他法人との連携による人材育成事業			
7 その他 ( 無料医療相談会への参加 )	○	平成2年	372

(注)「本年度支出額」については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「—」を記載している。